

非稼働病床の現況について【大阪市二次医療圏・病院】

資料5 - 4

※過去1年間病床が全て稼働していない病棟を有する病院
(非稼働病棟等という)

【北部】

	医療機関名	所在区	非稼働病棟等の状況			計画		
			病床数	非稼働病棟等になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	北	42床	令和元年度	<p>その他：病院建物の改修工事のため</p> <p>※病院建物の老朽化に伴う機能維持と、新たな建物（新館）を建設したことにより、大幅なリノベーション工事を実施中である。そのため1病棟を閉鎖し、工事個所の移転先を確保することで、診療機能を維持しながら工事を進めている。</p>	再稼働	未定	<p>【具体的対応方針】</p> <p>病床の再開場所としては、病院内にある健診センターのスペースを利用する予定である。健診センターは病院と同一敷地にある新館、もしくは別敷地の西館を利用する予定である。西館は耐震基準を満たさない古い建物であり、利用に際しては取壊しと建替えが必要である。健診センターを新館に移す場合も、現在の新館の機能を西館に移す必要があり、西館の建替えが必須となる。</p> <p>現在、西館の建替えについてワーキンググループを立ち上げ、具体的な検討を重ねている段階であり、具体的な時期は決定できていないが2026年（令和8年）以降になる予定である。</p>

非稼働病床の現況について【大阪市二次医療圏・診療所】

※過去1年間病床が全て稼働していない有床診療所
(非稼働病棟等という)

【北部】

No.	医療機関名	所在区	非稼働病棟等の状況			計画		
			病床数	非稼働病棟等になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	医療法人 小山医院	北	2床	不明	その他 ※このところ対象とする患者さんがいなかった。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		
2	医療法人 さたクリニック	北	3床	平成2年度	指定医療機関の認定要件を確保するため	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用しない		
3	医療法人 河野医院	北	2床	不明	入院患者（分娩）の受入れを制限（中止）したため ※生物学的薬剤投与後観察をする必要がなくなった。	無床診療所とする	未定	【具体的対応方針】 薬剤投与に関し、経過観察が要求される機会が考えられる。
4	十三・デンタルクリニック	淀川	2床	令和元年度	経営上の問題 ※入院を必要とする患者がいなかったため。	無床診療所とする	未定	【具体的対応方針】 廃院を考えているが、それに合わせて病床廃止の予定。
5	医療法人 石田産婦人科	旭	未提出	(休診中)				